

つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟

会長 丹羽 雄哉 様

つくばエクスプレスの
東京駅延伸に向けたご支援について

つくば市

守谷市

柏市

流山市

三郷市

八潮市

荒川区

つくばみらい市

平素より、つくばエクスプレス沿線整備に際し、格段の御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

つくばエクスプレスは開業後、今年で10周年を迎えようとしており、平成27年3月における1日平均乗車人員は、33万人を超える実績を上げております。これも、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟の有志各位の日々のご活動の賜物と重ねて御礼申し上げます。

さて、沿線自治体にとりまして、鉄道経営の安定化が第一義であるということは言を俟たないところであります。現在においては、利用客は順調に推移しておりますが、今後とも継続的に利用客の増加を確保していくには、さらなる利便性と快適性の向上が必要であり、東京駅への延伸が大きな効果をもたらすものと期待をしております。

平成25年6月14日に閣議決定された日本再興戦略では、首都圏空港の強化と都心アクセスを改善するため、都心直結線の整備に向けた検討を進めるとしております。

都心直結線の整備に合わせて、つくばエクスプレスの東京駅延伸が実現すれば、新東京駅で都心直結線とつながり、つくばエクスプレス沿線の交通アクセスが飛躍的に向上し、世界有数の研究開発及び人材育成拠点であるつくば市や柏市などのつくばエクスプレス沿線地域が、世界をリードするイノベーション拠点としての機能を高め、我が国の国際競争力の強化につなげることができ、また、東京圏の鉄道ネットワーク機能として非常に有効なものであると考えます。

整備につきましては、都心直結線と同時施工することにより、工事費

が約200億円の削減、工期が約3年の短縮になるため、効率的であり現実的であります。

沿線自治体としましても、整備費につきましては、首都圏新都市鉄道株式会社及び沿線自治体を含む関係機関の合意形成のもと検討を要する課題であると考えております。

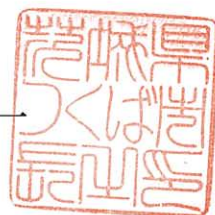
このようなことから、国土交通省 交通政策審議会で審議が進められている次期答申におきまして、つくばエクスプレスの東京駅延伸が、都心直結線と同等に早期に整備すべき路線として盛り込まれることを切望しております。

沿線自治体では、今後さらに、沿線の整備をはじめ、より魅力あるまちづくりを推進し、鉄道利用者の増加に寄与するため鋭意努力してまいりますので、つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟の有志各位におかれましても、東京駅延伸の早期実現に向けて、関係者への合意形成や事業化の決定等に更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月3日

つくば市長

市原 健



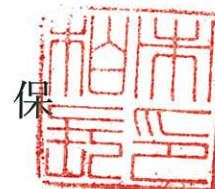
守谷市長

会田 真



柏市長

秋山 浩



流山市長

井崎 義



三郷市長

木津 雅



八潮市長

大山



荒川区長

西川 太一



つくばみらい市長

片庭 正



